

2021年7月15日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

「野村グループ TCFDレポート2021」発行について

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:奥田健太郎、以下「当社」)はこのたび、「野村グループ TCFD[※]レポート2021」を発行しましたので、お知らせします。

野村グループは「Drive Sustainability.」というコンセプトのもと、サステナブルな社会の実現と社会的課題の解決のため、ESG/SDGsに関連する活動に積極的に取り組んでいます。2018年にTCFDへの賛同を表明し、これに基づく情報開示の拡充にも積極的に取り組んできました。



「野村グループ TCFDレポート2021」では、TCFD提言に基づき、当社の気候変動に関するリスクと機会およびサステナビリティに関する最新の取組みについて報告しています。脱炭素社会への移行の影響を最も受けやすい信用リスク・エクスポージャーの計測指標やポートフォリオ内比率、複数の気候変動リスクシナリオに基づいた当社ポートフォリオへの影響の評価に対するアプローチなども記載しています。また、さまざまな業種で脱炭素経済への移行が進むなか、当社が提供できる気候変動や社会問題の解決に貢献するさまざまな金融サービスについても紹介しています。

当社は今後も、気候変動への取組みを継続的に強化するとともに、開示の拡充にも努め、持続可能な未来の実現に一層貢献していきます。

「野村グループ TCFDレポート」はこちらのURLからご覧になれます。

<https://www.nomuraholdings.com/jp/investor/library/tcfcd/2021/pdf/all.pdf>

※ TCFD(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)は、気候変動に関する企業情報開示の充実に目的に、2015年12月に金融安定理事会(Financial Stability Board)により設立された民間主導のタスクフォースで、2017年6月に最終報告書(提言)を公表しています。

以上